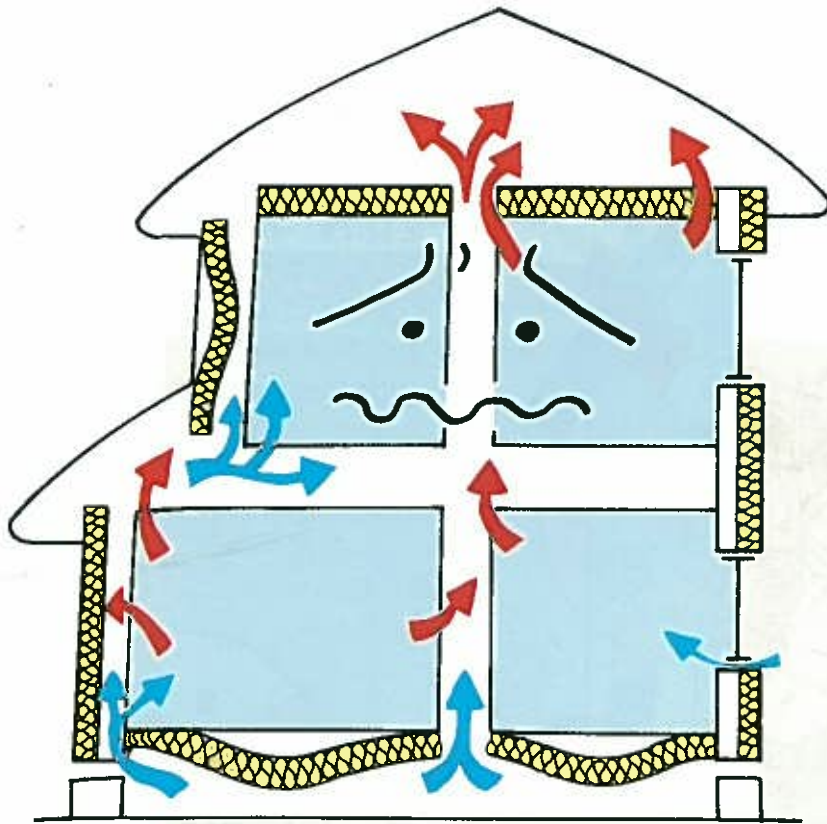


ポイント1

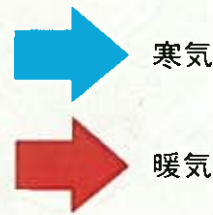
住まいの 基本性能を 変えます。

在来工法の断熱材の性能を
100%発揮させることで、夏
涼しく、冬暖かい住まいとなり
ます。



今までの住まい

断熱材が住宅に使われ始めてもう20年にもなります。しかし、在来木造工法では、構造的にその性能が十分に発揮されにくいのです。そのため、冬は寒く、夏は暑い住宅になってしまいます。そればかりか、廊下や屋根裏、壁の中に熱や水蒸気が漏れて、見えないところで結露が発生し、木材が腐り住宅の寿命を縮めます。断熱材の使い方が科学的に解明されていなかったのです。



これからの住まい

建物の外気に接する部分の床・壁・天井(屋根)の内側を気密に、外側を開放し、室内の湿気、外部からのすきま風を壁内などに侵入させず、断熱材の性能をきちんと発揮させます。

また、万一湿気が漏れても、外部へ開放された通気層を経て外へ排出するので、結露を防ぎ、木材を腐らせない安全対策も施しています。

この結果、住宅は、その熱的な基本性能を一変させます。夏涼しく、冬暖かい、一年中快適な住まい。省エネルギー・省資源の地球にやさしい住宅が実現します。

